

豊橋クランメリア

フロアボール & ネオホッケー

目標

東海地方初の国内トップリーグへの参入

日本男女ネオホッケー選手権 3連覇

目的

次世代選手の育成と技術向上

フロアボール／ネオホッケー競技の普及と認知度向上

全世代が共に成長できるチーム運営

地域社会への貢献と交流



東海から全国へ。
フロアボールの新しい風を。



フロアボールとネオホッケー *Floorball & Neohockey*

私たち「豊橋クランメリア」は、「競技性の高いフロアボール」と、「戦略と安全性を両立したネオホッケー」の両方に取り組むことで、勝利を目指すと同時に、より多くの方にこのスポーツの楽しさを知っていただくことを目標としています。

	フロアボール	ネオホッケー
発祥	北欧（スウェーデン）	スウェーデン → 日本
コートサイズ	約40×20m	約20～36×12～18m
チーム人数	5人のフィールドプレイヤーと 1人のゴールキーパーからなる 6人の構成	5人のフィールドプレイヤーと 1人のゴールキーパーからなる 6人の構成
試合時間	20分×3ピリオド	5～10分（大会規模で変動）
特徴	スピード感・競技性	安全性・教育的要素
主な舞台	世界選手権（隔年開催）	学校・地域 普及活動・全国大会

フロアボールとは

主にヨーロッパで人気が高くプロリーグがあり世界70か国ほどで行われている。
将来のオリンピック種目を目指す競技スポーツ。

ネオホッケーとは

フロアボールを参考に、レクリエーションを目的に日本の体育館などの環境に合わせ、ルールを改良された日本発祥の生涯スポーツ。

共通ルール

体育館の中にリンクを作り行うゴール型の室内ホッケー。
6対6でスティックを扱いボールを打って得点を競う競技。

こんな人にオススメ！

- ・チームスポーツを気軽に始めたい方
- ・子供と一緒に運動を始めたい方（3世代可）
- ・北欧文化や新しいスポーツに興味のある方

フロアボールとネオホッケーは、
“インクルージョン × チームワーク × 挑戦”を
体現するスポーツです。

誰でも、いつからでも始められる。あなたの新しい一歩を、ここから。

フロアボールを もっと多くの人に。

“まだ知られていない”がチャンス。

まだまだマイナーなスポーツではありますが、
だからこそ日本代表になれるチャンスがあります。

私自身日本代表として戦えることは、とても素晴らしいことで貴重な経験だと身をもって体感しました。当時は日の丸を背負って戦うことは、私自身にとって凄い事とは感じていなかったですが、一選を引いて、更にU19男子のコーチとして帯同してみてもやはり“日本代表”は輝かしかったです。

背負う誇り、つなぐ想い。

自分が感じた輝きを、次の世代にも届けたい。

自クラブから日本代表選手を輩出したいです。日の丸を背負ってプレーするという素晴らしさや誇らしさを伝えていきたいです。そして、日本代表を目指せる世代の子にはチャレンジし、それをつかみ取って体感してほしいです。

日本代表になるのがゴールではなく、日本代表として世界を相手に何ができるのか挑戦してほしいです。

そのためには私が日本代表の際に体験してきた困難や問題点を改善し、愛知に住んでいてもフロアボールの日本代表を目指せるという環境作りに尽力します。

競技が切り拓くキャリアと成長

スポーツが教えてくれた、人としての学び。

私自身、現在の職場には、日本代表として積み重ねてきた経験を評価していただき、就職することができました。一線を退いた後も、日本代表U19男子のコーチとして帯同させてもらったのも、現在の会社のおかげです。

日本代表を通して学んだことは技術だけではありません。広い視野やさまざまな経験は私にとってかけがえのない宝物です。

マイナースポーツだからこそ両立していくことが難しいとは思いますが、真剣に取り組んでいれば、その努力は報われます。

想 *Hope Through Sport*

次世代を支える活動へのご支援のお願い。

一緒にこの競技を未来へつなげていきたい。

1. マイナースポーツの現実と私たちの想い

フロアボールは、まだ日本では広く知られていない「マイナースポーツ」に位置づけられています。

そのため、日本代表クラスの選手であっても、大会への遠征費やユニフォーム、用具の多くを自己負担（実費）でまかなっているのが現状です。こうした経済的な負担は、選手たちが競技を続けることやトップレベルへの挑戦をあきらめざるを得ない大きな壁となっています。

このような現実を少しでも多くの方に知っていただき、「才能の芽を摘まない環境」を一緒に育てていきたいと考えています。

2. 地方選手が直面するハンデと、地域の環境整備

現在、日本代表の練習やフロアボールのリーグ戦は、その多くが関東圏で開催されています。

そのため、東海地方在住の選手は代表練習や試合に参加するたびに、遠征費や宿泊費をすべて自費で負担しなければならず、経済的なハンデは一層大きくなっています。

私たちは、この課題を解決するために、選手の活動を支えると同時に、東海地方でもフロアボールに取り組める環境づくりを積極的に進めています。

まだ競技人口が少ないこの地域で、次世代の才能が育つ土壌と機会を整えることを目指しています。

この挑戦に、ぜひご賛同・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

あなたの応援が、次の挑戦を支えます



Grip Technology とんちの利いたシステム開発
株式会社 グリップ・テクノロジー

グリップ・テクノロジーは
豊橋クランメリアを応援しています。